



安心院支所前の交差点でラウンドアバウトの社会実験を開始してから9ヶ月近く経過しました。

今回、本格運用へ向け、通行しやすい歩車道境界の段差形状を検討するため、宇佐市在住の車椅子利用者をはじめ、「NPO法人自立支援センターおおいた」及び「自立生活センター宇佐」のご協力を頂きながら、車椅子利用者3名、介助者3名の計6名とともに現地調査を行いました。

現地調査では、様々なタイプの段差を実際に通行してもらい、通行の容易性等について意見を頂きました。



期 日 令和2年7月31日（金）14時～

場 所 大分市（大分城址公園前、ホルトホール前、県立美術館前の横断歩道）

参加者 NPO法人自立支援センターおおいた、自立生活センター宇佐、宇佐市在住車椅子利用者

その他 大分県道路保全課、宇佐土木事務所

【 現 地 調 査 状 況 】



城址公園前横断歩道



県立美術館前横断歩道